

領域4 インフォーマルミーティング議事録

日本物理学会 2022 年秋季大会

2022 年 9 月 10 日（土） 17:30-18:30 オンライン開催（書記：岩崎）

出席者（敬称略）

領域代表：高根美武 領域副代表：村木康二

運営委員：深澤太郎、岩崎拓哉、井手上敏也、黒山和幸、米田淳

次期運営委員：原嶋庸介、吉田恒也、野入亮人

他

1. 報告事項

1-1. プログラム小委員会・領域委員会報告（2022 年 5 月 19 日 オンライン開催）

- 招待・企画・チュートリアル講演・シンポジウム等の検討・決定について、非会員の招待講演者にはこれを機に物理学会へ入会してもらいたい、シンポジウム講演の提案書では個々の講演者と引用参考文献が対応するように記入してほしい、チュートリアル講演について題目をわかりやすくする等の工夫が求められている旨の報告があった。
- 物性領域では招待 1 件、企画 2 件、チュートリアル 5 件、シンポジウム講演 7 件（内 1 件は米沢賞講演）が採択された。領域 4 からの提案はゼロであった。
- 理事会からの「オンライン大会の定期開催」の提案は本委員会内では承認されたことが報告された。春と秋のどちらをオンラインにするか、各領域によって様々な意見が出ている。
- シンポジウム申込時に、記載漏れや講演時間超過がないように申し込みサイトに工夫をすることを検討中との説明があった。
- オンライン大会時の参加登録費の割引は困難である旨の説明があった。

1-2. 概要集提出率について説明があった。領域 4 は 95.5%。

1-3. 領域 4：若手奨励賞について、選考プロセス、受賞者数上限等に関する説明があった。

今回は、年次大会での講演者数減少に伴い最大 2 名となった（昨年度は 3 名）。来年度は秋に年次大会が開催される予定であり、受賞者数上限は変更無しの可能性が高いとの説明があった。

1-4. 領域 4：学生優秀発表賞について、2021 年度の実施状況と受賞者について、および 2022 年秋の実施状況について説明があった。

2. 審議事項

2-1. 来年度領域代表、副代表候補の承認

次期領域代表（2023.4－2024.3） 村木 康二（NTT 物性科学基礎研究所）

次期領域副代表（2023.4－2024.3） 村上 修一（東京工業大学）

2-2. 新運営委員の紹介、次期運営委員の承認

現役（2021.10－2022.9）

次期（2022.10－2023.9）

深澤太郎（産総研）[半導体] → 原嶋庸介（奈良先端大）[半導体]

岩崎拓哉（物材機構）[グラフェン] → 島崎佑也（理研）[グラフェン]

井手上敏也（東大）[トポロジカル] → 坂野昌人（東大）[トポロジカル]

現役（2022.4－2023.3）

新規（2023.4－2024.3）

黒山和幸（東大生研）[量子ホール] → 仲井良太（九大）[量子ホール]

小林浩二（九大）[トポロジカル] → 吉田恒也（筑波大）[トポロジカル]

米田淳（東工大）[量子ドット] → 野入亮人（理研）[量子ドット]

2-3. 運営委員の業務担当に関する報告（今期 → 次期）

- 運営委員の連絡責任者
井手上敏也（東大） → 黒山和幸（東大生研）
- メーリングリスト・領域 4HP 担当
深澤太郎（産総研） → 小林浩二（九大）
- インフォーマルミーティング担当
岩崎拓哉（物材機構） → 米田淳（東工大）

2-4. 春季大会（2023.3）の予定に関する報告

- シンポジウム・企画講演等公募締切：11 月 10 日
- プログラム小委員会・領域委員会：11 月 25 日
- インフォーマルミーティング申し込み締切：12 月 20 日
- 一般講演申し込み締切：12 月 1 日 14:00
- プログラム編集説明会：12 月中旬（運営委員は出席）
- プログラム暫定版 web 公開：1 月上旬。校正 1 月-2 月。
- 講演概要集原稿締切（Web）：2023 年 1 月 18 日 14:00
- プログラム掲載：2023 年 2 月中旬（マイページにて PDF）
- 春季大会 3 月 22 日（水）～25 日（土）（オンライン開催）

2-5. 年次大会の招待・企画・チュートリアル・シンポジウムの申請について、次回への提案の呼びかけがあった。

2-6. 領域 4 の分野の分け方について

- 量子ホール分野はグラフェン等を含まず III-V 属等狭い範囲に限定されており、講演数が少なくなっている。一方、トポロジカルやグラフェンに講演数が集中しているため、分野の再編を検討することが議論された。現在は、発表投稿時に選択される第一キーワードをもとに分野を割り振っている。キーワードを直せるタイミングと同時に再編できないかという意見が出た（すぐには対応できないため、改めて審議することが提案された）。

以上